2016年制定 トンネル標準示方書[共通編]・同解説/[シールドエ法編」・同解説 正 誤 表 (2016年制定・第1刷に対応)

頁 条番号 区分 箇所 誤 正 - 委員構成 素*(**Q***)*7*** 臼田 利之(大阪市政清水 幸範 清水 幸範 清水 幸範 清水 幸範 清水 幸範 共通編 4 2.2 解説文 上から1行目 計画, 設計, 施工および施工管理等の 計画, 設計, 施工およ が加工 管理等の 1 計画, 設計, 施工およ が加工 会い 23 3.3 解説図 1.3.11 タイトル 会い 24 3.3 解説図 1.3.12 タイトル 会い 24 3.5 解説図 1.3.15 タイトル 解説図1.3.15 シールド工法技術協会い 2 コールドエ法技術協会い 2 コールドエ法技術協会い 2 コールドエ法技術協会い 2 コールドエス 技術協会い 2 コールドエス 技術協会い 2 コールドエス 大 2 コールドエス ト 3 1.3.15 シャフト 2 コールドエス ト 3 1.3.15 シャフト 2 コールドエス ト 3 1.3.15 シャフト 2 コールド 2 コール	☆策企画室) はび 維持 管理等の ールドエ法技術協 ・・・) ールドエ法技術協 ・・・) ト形式の立坑 「成立し、鉄筋コン 」を有する継手構造 策とともに、シール 装備するなど・・・・ 型の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
一 委員構成 編集WG 清水 幸則 清水 幸範 4 2.2 解説文 上から1行目 計画,設計,施工および施工管理等の 計画,設計,施工およいか工方法編 23 3.3 解説図 1.3.11 タイトル 会・・・) シールド工法技術協会・・・) 会・・・) 24 3.3 解説図 1.3.12 タイトル 会・・・) (データ出展シールド工法技術協会・・・) 会・・・) 28 3.5 解説図 1.3.15 タイトル 解説図1.3.15 シャフト形の式立坑 解説図1.3.15 シャフト 解説図1.3.15 シャフト 35 3.7 解説表 1.3.8 ④の右の欄 マニュフェスト マニフェスト マニフェスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	よび <mark>維持</mark> 管理等の -ルドエ法技術協) -ルドエ法技術協) ト形式の立坑 「成立し、鉄筋コンコを有する継手構造策とともに、シール装備するなど…								
共通編 4 2.2 解説文 上から1行目 計画,設計,施工および施工管理等の 計画,設計,施工およい。 計画,設計,施工およい。 23 3.3 解説図 1.3.11 タイトル 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-ルドエ法技術協 …) -ルドエ法技術協 …) -ルドエ法技術協 …) ト形式の立坑 が成立し、鉄筋コン 」を有する継手構造 策とともに、シール 装備するなど… 型の… 部載荷の場合 *2								
4 2.2 解説文 上から1行目 計画, 設計, 施工および施工管理等の いい シールド工法編 計画, 設計, 施工およいの いい シールド工法編 23 3.3 解説図 1.3.11 タイトル 会・・・) 会・・・・ 会・・・ 会・・・・ 会・・・ 会・・ 会・ 会	-ルドエ法技術協 …) -ルドエ法技術協 …) -ルドエ法技術協 …) ト形式の立坑 が成立し、鉄筋コン 」を有する継手構造 策とともに、シール 装備するなど… 型の… 部載荷の場合 *2								
23 3.3 解説図 1.3.11 タイトル 会・・・) 会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・) -ルドエ法技術協 ・・) ト <mark>形式の</mark> 立坑 「成立し、鉄筋コン 」を有する継手構造 策とともに、シール 装備するなど・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
28 3.5 1.3.15 タイトル 解説図1.3.15 シャフト形の式立坑 解説図1.3.15 シャフト 解説図1.3.15 シャフト 解説図1.3.15 シャフト 第説図1.3.15 シャフト マニュフェスト マニュフェスト マニュフェスト マニュフェスト マニュフェスト マニュフェスト マニュフェスト マニフェスト でするなどの対策ととも マニクリート・・・ マニフェスト では、形状保持装置を装備するなど・・・ では、形状保持装置を装備するなど・・・ では、形状保持装置を装備するなど・・・ マニテム・アイドの大田のままた 大き文圧応力度 日本の大田のままた 大き文圧応力度 日本の大田のままた 大き文圧応力度 日本の大田のままた 大き記位置のずれ、「中	・・) ト <mark>形式の</mark> 立坑 「成立し、鉄筋コン」を有する継手構造策とともに、シール装備するなど・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
35 3.7	「成立し、鉄筋コン」を有する継手構造策とともに、シール装備するなど… 型の… 部載荷の場合 *2								
46 1.4 解説文 下から9行目 …平面ひずみの保持が成立し、鉄筋コ カリート… カリート… ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・]を有する継手構造 策とともに、 <mark>シール</mark> 装備するなど… <u>⊌の</u> … 部載荷の場合 * ²								
40 1.4 解説文 トから911日 ンクリート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・]を有する継手構造 策とともに、 <mark>シール</mark> 装備するなど… <u>⊌の</u> … 部載荷の場合 * ²								
47 1.4 解説文 上から5行目 る継手構造を選定するなどの対策ととも を選定するなどの対策 「に、形状保持装置を装備するなど・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	策とともに, <mark>シール</mark> 装備するなど… <u>どの・・・・</u> 部載荷の場合 *2								
77 4.1 表 2.4.1 表中最下段 許容支圧応力度 局部載荷の場合 ²⁾ 許容支圧応力度 局部 4.1 解説図 ナ側ケロ 「スコミナ」のケロのままた器 表記位置のずれ、「中	部載荷の場合 *2								
00 41 解説図 _{+側左四}									
82 41	a 中 如 へ よ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
97 6.2 解説文 上から6行目 (第4編 3.7, 5.11 参照) (第4編 3.7, 5.15 参照									
106 6.6 解説図 2.6.14 「てこ反力」の矢印の表記位置 表記位置のずれ、「中を指す 小湾い方の板厚以下脚長=√(2t)また まいたのお原以下	一大印の小ルト间」								
120 7.8 呼流又 上がら711日 は、溶接する板厚以下とする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
135 10.3 解説文									
167 5.1 解説文 上から27行目 $($ 参考値:実績によれば= $l_T imes 0.3 imes 0.4)$ $($ 参考値:実績によれば									
193 12.3 解説文 解説表3.12.1 非破壊検査の 非破壊検査の おは 見解しずり 磁粉探傷試験方法 浸透探傷試験方法 JIS G 0565-1982 浸透探傷試験方法 3級 3級 浸透探傷試験方法 遊然保傷試験方法 浸透探傷試験方法 JIS Z 2343-1982 別S Z 2343-1982 3級	規格 品質レベル 2 2320-1:2007 級なし 2 2343-1:2001 級なし Z 3060:2015 3類								
	Z 3104:1995 3類								
207 3.4 解説文 上から16行目 排土正常 排土 性状									
212 37 解説文 トから10行日 東込材 東込め材									
236 4.12 解説図 _{4.4.11} 最上段中央 直接補 直接補 強									
275 8.7 解説文 上から9行目 マニュフェスト マニフェスト									
引用文献リスト一覧 - 引用文献 リスト一覧 リスト一覧 リスト一覧 リストー覧 リストー覧 リストー覧 サストー覧 ま5.3.12									
- 引用文献 リスト一覧 示方書図表番号 表5.3.13 表5.3.12									
- - 引用文献 リスト一覧 ホ方書図表番号 解説 図7.1.1 解説 図5.7.1									
- 引用文献 リスト一覧 リスト一覧 リストー リストー でおき は まった まで おおま は まった まで おおま は まった まで は まった まで また また また は まった まで は また また また また また は また									
- 引用文献 リスト一覧 ホ方書図表番号 解説 図7.2.2 解説 図5.7.3									
- 引用文献 リスト一覧 ・									
- 引用文献 転載元の情報/ リスト一覧 写真.図表番号 図 I.2.16 図 I.2.13									
_ 引用文献									
_ 引用文献 示方書図表番号: 解説 図1.3.12/著者名:シールド工法技術協 引用図書名:シールド工法技術協会 ホームページ	_{jeth} 示方書図表番号: 解説 図1.3.12/著者名:シールド工法技術協会								

(2016年制定・第1刷~第2刷に対応)

2018/5/17作成

	2018/5/1/1/										
頁	条番号	区分	箇所	誤	正						
シールド工法編											
79	4.1	表 2.4.5	表中の中段	開先溶接の許容せん断応力度の数値	別表1の通り追記した						
290	3.2	表5.3.6	表左下	せん断降伏強度 f_{vyd}	せん断降伏強度 f_{vy}						
290	3.2	表5.3.7	表左下	せん断降伏強度 f_{vyd}	せん断降伏強度 f_{vy}						
291	3.2	表5.3.8	表左下	せん断降伏強度 f_{vyd}	せん断降伏強度 f_{vy}						
310	7.2	解説図 5.7.2	中央部の記号 N' dを「N' J Mdを「M」	\mathcal{E}'_{cu} \mathcal{E}'_{sc} \mathcal{E}'_{cu} \mathcal{E}'_{sc} \mathcal{E}'_{cu} \mathcal{E}'_{sc} \mathcal{E}'_{cu} \mathcal{E}'_{sc} 中立軸 \mathcal{E}'_{sc}	ε'_{cu} ε'_{sc} ε'_{cu} ε'_{sc} ε'_{cu} $\varepsilon'_$						
329	9.2.2	解説図5.9.2	図題	解説 図 5.9.2 入射波および反射波の挿	解説 図 5.9.2 入射波および反射波						
332		解説図 5.9.4	(b)の下段に 外力 <i>K∂</i> を追記	ばね余と	が力 なる はお変数 等価 個 がよりを数する はな変数 (も) 地域はないにはも完全を作用の説明図						
335	9.4.3	解説図 5.9.9	中央部の変位基 準線を立坑まで 延長	立族をモデル化するはり総材 シールドンネルをモデル化するはり総材 カイド・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール	立坑をモデル化するはり膨材 立坑をモデル化するはり膨材 シールドレスキルをモデル化するはり膨材 がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが、がが						

別表1																				
誤	鋼種記号			銅種				SS400 SM49 SM400 STK49 STK400									SM570			
				r	A				Α,	В			A, B	, с		1	С	;		
	応力	度の種	重別	板馬	r ≥16	16< 1 ≤40	40< t ≤ 75	75< 1 ≤ 100	1 ≤16	16< t ≤ 40	0< 1 ≤ 75	< 1 ≤ 100	1 ≤16	16< 1 ≤ 40	40< 1 ≤ 75	< 1 ≤ 100	1 ≤16	16< 1 ≤ 40	40< 1 ≤ 75	> 1 ≤100
						16	4(75		7	40-	75<		Ÿ.	9	75.		Ť	4	75<
	構	許容引	張応力度	軸方向応力度																1
	造			曲げ応力度	160	155	140	140	215	210	195	195	240	235	220	215	295	290	275	270
	用	許容圧	縮応力度	軸方向応力度 曲げ応力度																1
	鋼音	宇容せん	ん断応力度		90	90	80	80	125	120	110	110	140	135	125	120	170	165	160	155
	材		圧応力度	鋼板と鋼板	220	215	195	195	300	290	270	270		325					370	
				許容引張応力度																
		I	開先溶接	許容圧縮応力度	160	155	140	140	215	210	195	195	240	235	220	215	295	290	275	270
	溶口	. 場		許容せん断応力度																<u> </u>
	接着	溶接		ビード方向の許容引張・E 縮応力度	160	155	140	140	215	210	195	195	240	235	220	215	295	290	275	270
	部	4	ナみ肉溶接	相心刀及												-	-	_		
			7 -7-F THIFTISK	のど厚に関する許容引張・ほ	Ε															
				縮・せん断応力度	90	90	80	80	125	120	110	110	140	135	125	120	170	165	160	155
					90	90	80	80	125				140 原則			120	170	165	160	155
				縮・せん斯応力度場溶接	90			80	125	上記	己の9			とする		120	170	165	160	155
正				縮・せん断応力度	90	SS	6400 M400	80	125		記の 9 190				90Y	120	170	165 SM5		155
正				縮・せん斯応力度場溶接	90	SS	3400	80	125	上言 SM4 STK4	記の 9 190			とする SM49	90Y 20	120	170		570	155
正				編・せん斯に力度 場溶接 鋼程 記与	90	SS SM STI	S400 M400 K400			上言 SM4 STK4	記の 9 190 490 B	0%を	原則	SM49 SM5	90Y 20	001		SM5	570	
正	応力	度の種	現	略・せん断応力度 場溶接 鋼和	90	04 STI SZ SW SZ	6400 M400 K400	t ≤ 100	91 ⊲ 1	A, Oサッ	記の9 190 490 B	0%を		SM49 SM5 A, B	90Y 20 , C	> 1 ≤ 100	91 VI	SW2	570 570	t ≤ 100
正	応力	度の種	現	編・せん斯に力度 場溶接 鋼程 記与	90	049 NIS SS SV	S400 M400 K400		91	A, Of VI	記の 9 190 490 B	0% & 001 √ 1	原則	SM49 SM5 A, B	90Y 20 , C	001	91	SW2	i70 24√√	001 ⊴
正	\exists		現	版· 中人州応力度 場溶接 銅春 松月 板月	90	04 STI SZ SW SZ	6400 M400 K400	t ≤ 100	91	A, Oサッ	記の9 190 490 B	0%を	原則	SM49 SM5 A, B	90Y 20 , C	> 1 ≤ 100	91	SW2	570 570	t ≤ 100
正	\neg		現	版· 中人都吃力度 場溶接	90	04 STI SZ SW SZ	6400 M400 K400	t ≤ 100	1 ≤16	上言 SM4 STK4 A, 045 / >91	記の90 490 B 92 ¹ > 0 1	0% & 001 ≤ 1 > 92	原則 3	SM49 SM5 A, B	90Y 20 , C 5∠ 1 > 04	> 1 ≤ 100	91 ≥ 1	SM5 04≥ 1 >91	570 570	75 < ₁ ≤100
正	構造	許容引	現	南・中人都立力度 場溶接 銀行 報方向応力度 軸方向応力度 軸方向応力度	90	04≥ 1 ≤40 SUI	6400 M400 K400 	75 < ₁ ≤ 100	1 ≤16	上言 SM4 STK4 A, 045 / >91	記の90 490 B 92 ¹ > 0 1	0% & 001 ≤ 1 > 92	原則 3	SM49 SM5 A, B	90Y 20 , C 5∠ 1 > 04	75 < ₁ ≤ 100	91 ≥ 1	SW2 C 04≥ 1 > 91	570 579 7 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	75 < ₁ ≤100
正	構造用鋼	許容引	現 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	南・中人都立力度 場溶接	90	04≥ 1 ≤40 SUI	6400 M400 K400 	75 < ₁ ≤ 100	1 ≤16	E 10	195 99 99 195 90 99 195 195 195	0% & 001 ≤ 1 > 92	原則 3	SM459 SM5 SM5 A, B O サップ・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション	90Y 20 , C 22 VII 1 V Q	001	91 71 295	SM5 C 04 > 1	570 92√ ₹ 275	801 × × × 92.
正	構造用鋼	許容引 許容圧 許容せん	現別	南・中人都立力度 場溶接 銀行 報方向応力度 軸方向応力度 軸方向応力度	90	04 ≥ 1 > 91 SZII V A SZII	00400 0400 0400 0400 0400 0400 0400 04	001 ≡ 140	91 🤍	上言 SM4 STK4 A, 045 / >91	記の90 490 B 92 ¹ > 0 1	00% € 001 5 1 > 92	原則 3	SM459 SM5 SM5 A, B O サップ・ション 235	90Y 20 , C \$2V >> Q	80 VIII VIII VIII VIII VIII VIII VIII VI	99 VII 2995	SM5 C 04 1 290 165	570 579 7 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	75 < ₁ ≤100
正	構造用鋼	許容引 許容圧 許容せん	選別	唯・中人都に力度 場容接 観り を も が の に 力度 も が の に 力度 も が の は 力度 も が の し 力度 も も り の し を り を し を も と り を し を と り を と り を と も と を と を と を と を と を と を と を と を と	90 90 90 90 220	SS SM STII A A 99 90 215	S400 M400 K400 S2 F9 140	001 V V V V V V V V V V V V V V V V V V	215 125 300	上語 SM4 STKA A, 04 VV	195 110 270	00% € 001	原則 3 240 140 335	SM49 SM5 A, B 0 0 1 1 2 3 5 1 3 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2	220 220 125 305	85 VIII VV P2 215 120 3000	295 170 395	SM5 C 01/1	275 160 370	80 V V V V V V V V V V
正	構造用鋼	許容子 許容生人 許容支	選別	南・中人都に力度 場溶接	90 90 90 90	90 90	5400 M400 K400 1400 140 140	001 ≤ 1 × 52.	99 VII 215	E 120	190 99 190 190 B 925 1 > 00 190 195 195 195 195 195 195 195 195 195 195	0% € 001 5 1 > 92 195	原則 3	SM49 SM5 A, B 0 0 1 1 2 3 5 1 3 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2	220 220 125 305	85 VIII VV P2 215 120 3000	295 170 395	SM5 C 01/1	275 160	80
正	構造用鋼材	許容子 許容生人 許容支	現 ・ ・ ・ ・ を 力度 ・ を 力度 ・ に が た 力度 に に た の に の た の に 。 に の に 。 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。	個・中人制定力度 場溶接 動方向応力度 動方向応力度 動方向応力度 動方向応力度 動方向応力度 動方の応力度 影影面につき 関板と開板 許容引張応力度 評客日振応力度 評客日振応力度	90 90 160 90 90 90	SS SM STII A A 99 90 215	S400 M400 K400 S2 F9 140	001 V V V V V V V V V V V V V V V V V V	215 125 300	上語 SM4 STKA A, 04 VV	195 110 270	00% € 001	原則 3 240 140 335	SM49 SM5 A, B 0 0 1 1 2 3 5 1 3 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2 5 1 2	220 220 125 305	85 VIII VV P2 215 120 3000	295 170 395	SM5 C 01/1	275 160 370	80 V V V V V V V V V V
正	構造用鋼材	許容圧 許容せん 許容支	現 ・ ・ ・ ・ を 力度 ・ を 力度 ・ に が た 力度 に に た の に の た の に 。 に の に 。 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。	幅・4人無応力度 場溶接 動力向応力度 曲げ応力度 曲げ応力度 地が向応力度 地が向応力度 地形面につき 興板と興板 評客日郷な力度 に下する。 に下す。 に下す。 に下す。 に下する。 に下する。 に下する。 に下する。 に下する。 に下す。 に下する。 に下する。 に下する。	90 90 160 90 90 90	SS SIGNATION A PROPERTY OF THE	S400 M400 K400 1400	80 140 80 195	215 215 125 300 215	上 n n n n n n n n n n n n n n n n n n n	195 110 195 110 110 110 110 110 110 110 110 110 11	0%を 00%を 195 110 270	原則 2 240 140 335 240 140	SM45 SM5 A, B 07 Vi 235 235 235 235	220 220 125 220 125	215 215 120 300 215	295 170 395 295	SM5 C 04 VII VII VII VII VII VII VII VII VII VI	275 160 275	270 270 155 360 270
正	構造用鋼材	許容正許容せ人許容支	現 ・ ・ ・ ・ を 力度 ・ を 力度 ・ に が た 力度 に に た の に の た の に 。 に の に 。 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。	南・中人部応力度 場溶接 動力向応力度 曲げ応力度 地方向応力度 地方向応力度 地方向応力度 地形面につき 類板と開版につき 対策をは順応力度 対策をは順応力度 対策をは順応力度 対策があたり度 があたりを があたりを があると がある があると があると があると があると があると がある	90 90 E 160 90 90 160 90 90 90 90 90 90 90	SS SIN STII A A 90 155 155 90 215 155 90	\$400 \$400 \$400 \$140 \$80 \$140 \$80 \$	80 140 80 195	215 215 125 300 215	SM4 STK/A, 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	195 110 195 110 110 110 110 110 110 110 110 110 11	0%を 0%を 195 110 270 195	原則 2 240 140 335 240	SM45 SM5 A, B 07 Vi 235 235 235 235	220 220 125 220 125	215 215 120 300 215	295 170 395 295	SM5 C 04 VII VII VII VII VII VII VII VII VII VI	275 160 275	270 270 155 360 270
正	構造用鋼材溶接	許容正許容せ人許容支	現 一	幅・4人無応力度 場溶接 動力向応力度 曲げ応力度 曲げ応力度 地が向応力度 地が向応力度 地形面につき 興板と興板 評客日郷な力度 に下する。 に下す。 に下す。 に下す。 に下する。 に下する。 に下する。 に下する。 に下する。 に下す。 に下する。 に下する。 に下する。	90 90 E 160 90 90 160 90 90 90 90 90 90 90	SS SIN STII A A 90 155 155 90 215 155 90	\$400 \$400 \$400 \$140 \$80 \$140 \$80 \$	80 140 80 195	215 215 125 300 215	SM4 STK/A, 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	195 195 195	0%を 0%を 195 110 270 195	原則 2 240 140 335 240	SM449 SM5 A, B O P VI	220 220 125 220	215 120 300 215 120 215	295 170 395 295	290 290 165 290	275 160 275	270 270 155 360 270

(2016年制定・第1刷~第3刷に対応)

2019/11/11更新

頁	条番号	区分	箇所	誤	正
				シールドエ法編	
48	1.5	条文	下から12行目		本編における覆工の設計は、許容応力度設計法によるものと <mark>する</mark> .